

# 第1号議案

## 令和2年度事業報告及び決算について

### 令和2年度事業報告

#### 1 団体の管理・運営

##### (1) 会員数（令和3年3月末現在）

- ・正会員：39団体
- ・賛助会員（団体）：106団体（87団体、19市町）
- ・賛助会員（個人）：121名

##### (2) 会議の開催

###### ① 総会

- ・第55回（書面） 令和2年4月 1日 役員を選任
- ・第56回 令和2年6月30日 令和元年度事業報告・収支決算
- ・第57回（書面） 令和3年8月 4日 役員を選任

###### ② 理事会

- ・第70回（書面） 令和2年4月 1日 会長及び専務理事の選定
- ・第71回 令和2年6月11日 令和元年度事業報告・収支決算、総会の招集、顧問の選任
- ・第72回（書面） 令和2年7月22日 総会の招集（役員を選任）
- ・第73回 令和3年3月30日 令和2年度収支予算の補正、令和3年度事業計画  
・収支予算、資金調達及び設備投資の見込み

#### 2 環境情報の提供

##### (1) インターネットホームページ（[URL: www.eco-partner.net](http://www.eco-partner.net)）による情報提供

- ・県民会議の活動、県内外の環境情報などを発信した。

＊ホームページ閲覧実績

年間 24,773回（67回/日）

（前年度：20,627回（56回/日））

- ・環境情報メールマガジン（県民エコステーション NEWS）の発行（月2回程度）

＊配信先数：465団体・個人（令和3年3月末現在）

（前年度：484団体・個人） ※未着のメールアドレスを整理したもの

(2) 機関報 E-GAIA (イーガイア) の発行

- ・発行部数：1, 800部 (年2回 各900部)  
(前年度：1, 800部 (年2回 各900部))
- ・配布先：会員、市町 (配布用) 等

(3) 会員情報誌「エコナビ」の発行

- ・発行部数：1, 000部 (年1回)  
(前年度：1, 000部 (年1回))
- ・配布先：会員、教育機関、公的機関等

(4) 「県民エコステーション」における情報提供 (活動・イベント案内、会員情報等)

(5) 環境ライブラリーとして、図書、パネル等の整備・貸出

- ・図書等整備状況 (令和3年3月末現在)  
図書1, 340冊、パネル27枚
- ・貸出状況 図書 58冊、パネル 0枚  
(前年度：図書等整備状況 図書1, 314冊、パネル17枚  
貸出状況 図書 63冊、パネル20枚)

### 3 地球温暖化防止対策の推進

(1) いしかわ環境展の開催

新型コロナウイルスの影響で、8月に開催を予定していた「いしかわ環境フェア」が中止となったが、環境問題について引き続き県民に向けた普及啓発を図っていく必要があることから、パネル展を実施。

- ・期間及び場所
  - 令和2年10月27日(火)～11月4日(水)[9日間]  
石川県庁行政庁舎19階 展望ロビー
  - ※同時開催：いしかわの里山里海 PR 展
  - 令和2年11月26日(木)～12月2日(水)[7日間]  
石川県地場産業振興センター 本館1階 じばさんギャラリー
- ・来場者数  
8, 000人
- ・出展団体  
56団体 (行政29、民間企業・団体25、大学2)

- ・パネル展示の内容
  - プラスチックごみ対策
    - 海洋プラスチックごみ問題の現状、レジ袋削減協定
  - 食品ロスの削減
    - 食品ロスの現状、「美味しいいしかわ食べきり協力店」制度
  - 気候変動への適応
    - 熱中症の予防対策
  - 里山里海の保全
    - 世界農業遺産「能登の里山里海」、里山づくり制度

## (2) 省エネ・節電アクションプランの推進

従来の環境 ISO の取組項目に加えて、省エネ・節電効果の高い取組項目を追加選択のうえ、アクションプランとしてステップアップした「いしかわ版環境 ISO」の取組み数の拡大を図った。

- ・学校・事業所等への周知
- ・相談窓口の設置（専任相談員による相談：週 1 回）

## (3) エコギフトによる温暖化防止活動への支援

- ・内容：いしかわ学校版・地域版環境 ISO で認定された学校や公民館等を対象に、取組の評価を行い、優秀な取組に対しエコギフト（エコ賞品）を贈呈した。
- ・贈呈：学校 14 校、地域（公民館）1 地域、保育園等 10 園  
（前年度：学校 10 校、地域（公民館）1 地域、保育園等 17 園）

## (4) いしかわエコチケットによる温暖化防止活動への支援

- ・内容：いしかわ家庭版環境 ISO 登録者を対象に、省エネなどエコ活動等に応じてエコチケットを交付し、家庭におけるエコ活動等の普及拡大を図った。
- ・交付実績：294,600 ポイント  
（前年度：572,300 ポイント）

## (5) エコファミリー倍増プロジェクト推進事業

- ・内容：令和 7 年度までにエコファミリーを 120,000 世帯とする目標に向け、いしかわエコライフ応援サイトを運営するとともに、子育て世帯の取組をさらに後押しするために親子向けにイベントを実施し、取組の裾野の拡大を図った。

## (6) エコファミリー倍増推進事業（スマートフォン向けアプリの運用）

エコファミリー倍増に向けた取り組みを加速するため、省エネ活動の成果の見える化や参加意欲を誘発するアプリケーションソフトを運用した。

(7) いしかわクールシェア・ウォームシェアの推進

コロナウイルスのまん延防止の観点から、人が集まり冷暖房を使用を抑制する本事業は、実施を見送った。

(8) 企業エコ化促進事業

- ・内容：県内中小企業等を対象に、地球温暖化対策や生物多様性の保全など環境対策を、制約でなくビジネスチャンスと捉える企業マインドの醸成を図った。
- ・いしかわエコデザイン賞のブランド化業務  
公開プレゼンテーション等、賞の企画運営・実施、広報

(9) いしかわ事業者版環境 ISO の運営

- ・内容 石川県独自の簡易な環境マネジメントシステムであるいしかわ事業者版環境 ISO に係る審査・指導
- ・申請件数（更新含む）：238件（累計申請件数：3,200件）  
（前年度：183件）

(10) エコクッキングの実践活動

- ・内容：地元の食材を使用し、調理器具や調理方法など環境への負担を少なくすることを実践しながら学んだ。
- ・回数：2回（能登町、金沢市）、参加者延べ26人  
（前年度：2回（七尾市、野々市市）、参加者延べ49人）

(11) 地域での地球温暖化防止活動促進事業

- ・内容：広く県民に対し、地球温暖化対策の情報提供を行うとともに、県から委嘱された地球温暖化防止活動推進員のさらなる資質向上を目的に研修を開催した。

- ・地域における地球温暖化の現状及び対策の推進状況等の啓発普及  
いしかわ環境展へのパネル出展等  
開催回数 2回、来場者数 延べ8,000人
- ・地球温暖化防止活動推進員研修  
開催回数 3回、参加人数 延べ216人

4 普及啓発活動の実施

(1) いしかわエコハウスの見学者への案内・普及

- ・いしかわエコハウスでの快適環境の体験
- ・最新機器の展示や展示物を活用した研修会等を開催
- ・「エコ設計」「エコ改修」「エコリビング」の普及啓発

## (2) 電気自動車の展示

- ・内容：電気自動車を配備・展示し、来館者にご覧いただいたり、環境イベントや環境保全活動において使用することにより、電気自動車の普及啓発を図った。

## (3) 県民エコステーションでの常設展示

- ・エコキッチン
- ・石川県リサイクル認定製品の展示
- ・ドイツ交流コーナー（ドイツ・フライブルク市との交流コーナー）  
フライブルク市エコステーションの事例パネル、グッズ等紹介
- ・会員活動情報、イベント情報、温暖化防止啓発等のチラシ、パンフレットの掲示

### 県民エコステーション来所者数

3, 104人（月平均：258人）

（内 訳）①来館者数 2, 774人（月平均231人）

#### ②会議室利用者数

団体数： 40団体（月平均 3団体）

人 数： 330人（月平均27人）

（前年度：来所者数5, 001人（月平均：416人）

① 来館者数 4, 213人（月平均351人）

② 会議室利用者数 団体数：80団体（月平均6団体）

人 数：788人（月平均65人）

## 5 環境学習講座の開催

### (1) ドイツでの環境学習講座の開催

- ・開催数：0回、参加者：0名 ※新型コロナウイルスの影響により派遣せず
- ・内 容：ドイツ・フライブルク市エコステーションとタイアップした現地講座開催  
によるリーダー育成

（前年度：開催0回、参加者0名）

### (2) 土曜環境サロン

環境保全を考える県民の情報交換の場づくり

- ・開催数：4回
- ・参加者：延べ60人（子ども8人、大人52人）

（前年度：開催4回、参加者延べ114人（子ども17人、大人97人））

## 6 環境活動の支援

### (1) 環境保全活動の支援助成

営利を目的としない民間団体の温暖化防止、ごみ減量化、自然環境の保全等に係る活動に対して助成した。

助成団体数：1団体 助成額：150,000円

(スタートアップ助成：0団体 助成額 0円)

ステップアップ助成：1団体 助成額150,000円)

(前年度：助成団体数6団体、助成額400,000円)

(内訳) スタートアップ助成：3団体 助成額210,000円)

ステップアップ助成：3団体 助成額190,000円)

### (2) 講師等派遣

県内の事業所、学校、各種団体等が行う環境保全の講演会、エコドライブ教室、エコクッキング研修会等へ講師を派遣した。

派遣回数：21回

(内訳) 学校・保育所等10回、民間団体8回、事業所3回

(前年度：派遣回数41回、

(内訳) 学校・保育所等25回、民間団体13回、事業所3回)

## 7 いしかわe c o基金事業

いしかわ家庭版環境ISO登録者を対象に、省エネ活動等に応じてエコチケットを交付し、エコ活動等の拡大や登録の普及拡大を図るエコチケット事業の原資となるいしかわe c o基金の管理運営を行った。

エコチケットは、事業協力店舗での買い物や森林整備活動資金への寄付を行うことができるもので、金融機関等の協力を得て「いしかわe c o基金」を造成し、事業協力店舗に対するエコチケットの換金支払等を実施した。

e c o基金残高の推移 (エコチケット引当資産を含む)

前期末残高	3,112,638円
(うち引当資産	572,300円)
当期受入額(寄付金等)	960,030円
当期払出額(換金支払等)	639,800円
当期末残高	3,432,868円
(うち引当資産	176,600円)

## 8 里山ポイント事業

県や市町、里山づくりISO認証団体が主催する里山活動への参加者に対し、里山ポイントを付与し、そのポイントに応じた里山チケットを交付することにより、より多くの人々が里山保全活動へ参画することを促進した。

## 9 いしかわ自然学校事業

### (1) 事務局の設置、運営

#### ①運営協議会の開催

- ・いしかわ自然学校の推進方策の検討及びプログラム実施等の調整

開催日 令和3年2月26日（ZOOMによる協議会）

対 象 実施団体及びいしかわ自然学校インストラクター等

出席者 24名

#### ②総合的な広報・PR等

- ・総合パンフレットの作成及び配布

作成部数 12,000部

配 布 先 市町、小中学校、公共図書館・児童館、生涯学習施設  
スポーツ用品量販店、自然体験プログラム実施団体ほか

#### ③活動用品の貸出

自然体験プログラムを実施するため必要となる物品の貸出

### (2) 実施団体及び指導者の養成

#### ①インタープリターセミナーの開催

- ・自然体験活動指導者相当の資格が付与できる指導者養成講座

開催日 令和2年9月12日

参加者 延べ23人

内 容 習得した知識や技術を活かし、自然体験プログラムの企画、  
広報、実施、評価について、実践をとおして学習

#### ②インストラクタースキルアップセミナーの開催

- ・インストラクターが自然体験活動する際に必要な講座の開催

（オンラインで2回開催）

(1) 野外活動に必要な気象の基礎や天気予測のノウハウ

開催日 令和2年8月2日

参加者 延べ16人

(2) 子どもの自然体験活動と自然保育の在り方

開催日 令和2年12月27日

参加者 延べ96人

#### ③専任職員の配置

インストラクター等の派遣に関する業務を中心に事業全般の企画・調整等

(3) インストラクタースクールプレセミナーの開催

- ・いしかわ自然学校の存在、インストラクターの活動の実際を、広く県民に周知
- ・インストラクター同士の活動の状況を共有し、お互いの情報交換・交流の機会

開催日 令和3年2月13日

参加者 延べ41人

10 夕日寺健民自然園管理運営事業

(1) 自然園の管理運営（職員2名体制）

(2) 来園者増のための取組（新型コロナウイルス感染症などで、中止や規模縮小となり大幅に減少）

- ・自然体験プログラムの実施（開催19回、参加者延べ225人）  
（前年度：開催28回、参加者延べ377人）
- ・夕日寺の森フェスタの開催（新型コロナウイルス感染症対策で中止）  
（前年度：10月22日 参加者600人）
- ・広報（ホームページ、チラシ作成）

\*年間来園者数35,269人

（前年度：49,353人）